

# 競技事項

## 1. 競技種目に関する事項

### 【第1部門】 Barber Style (バーバースタイル)

- (1) 競技規定
  - ① カットは総体的に2cm以上行うこと。(但し、刈り上げ部分はその限りではない)
  - ② クリッパーの使用は後頭下部に限り可とする。(但し、ミニクリッパー、トリマーは使用不可)
  - ③ 刈り上げを活かした男性らしいスタイルであること。
  - ④ サイド・バックには短く刈り込まれた美しい色彩と整った切断面が表現されていること。
  - ⑤ ネックシェーブが施されていること。
  - ⑥ 仕上がりは、クラシックなイメージで構成された新しさを感じさせるスタイルであること。
  - ⑦ ハリアート、レザーアートは施さないこと。(但し、ハードパートは可)
- (2) 競技時間 カット25分。スタイリング10分
- (3) 用具 自由(但し、ミニクリッパー、トリマーは使用不可)。
- (4) 整髪料 自由。

### 【第2部門】 レディースカット・パーマスタイル『Ladies hair Marge』

(人間モデル)

- (1) 競技規定
    - ① カットは総体的に2cm以上行うこと。
    - ② 『Ladies hair Marge』が提案する、ブロッキングを行うこと。
    - ③ 『Ladies hair Marge』が提案するプロセスを用いてカットすること。ボトムエリアは首が曲がる位置(第7頸椎)を超えないこと。
    - ④ 『Ladies hair Marge』が提案するプロセスを用いて、マーシュエリアにはポイントイングカットを施し、重さを取りながらツヤ感、透明感を失わない質感表現を行うこと。マーシュエリア以外は、自然なフィット感を表現すること。
    - ⑤ 『Ladies hair Marge』が提案するコールドパーマ技術を施し、マーシュエリアにJカールを表現すること。
    - ⑥ 『Ladies hair Marge』のイメージにあった髪的美しさを見せる上品なカラーを表現すること。暗部と明部の明度差は3レベル以上あること。
    - ⑦ スタイリングは、マーシュエリアに柔らかな動き、サイドに前上がりラインの自然なフィット感を表現すること。
  - (2) 競技時間 ブロッキング4分、インターバル1分、カット、スタイリング35分。  
インターバル後は、通しの35分(但し、カット開始10分以内のドライヤーの使用は禁止とする)。
  - (3) 用具 カット用具は、カットシザーズ、ダッカールピンおよびクリップ、コームのみ。  
セット用具は自由(アイロン、カーラー類は除く)。
  - (4) 整髪料 自由。
- (マネキン)
- (1) 競技規定
    - ① 競技終了時にはそのままテーブルに固定のクランプにマネキンを装着すること。
    - ② マネキンのボディーと衣装は自由。

# 競技事項

- ③ マネキンのボディー、衣装の着用、仕上がり審査時の角度の調整等すべては、競技時間内に行うものとする。
- ④ その他、時間、用具、整髪料等すべては人間モデル競技に準ずる。

## 【第3部門】 メンズカット・パーマスタイル

- (1) 競技規定
  - ① カットは総体的に2cm以上行うこと。
  - ② ファッション性のあるカールまたはウェーブが表現されていること。
  - ③ カットとパーマを活かしたデザイン性のあるヘアスタイルであること。
  - ④ 仕上がりはパーマを効果的に取り入れたスタイリングであること。
- (2) 競技時間 カット20分、フィンガーブロー10分。
- (3) 用具 カット用具は自由。セット用具はハンドドライヤーのみ。
- (4) 整髪料 自由。

## 【エキシビション】

### 【第4部門】 サロンヘア

- (1) 競技規定
  - ① カットは総体的に2cm以上行うものとする。
  - ② 現代感覚を取り入れたスタイルであること。
  - ③ サロンにおいて流行している、又はお客様に求められるスタイルに仕上げられていること。
- (2) 競技時間 カット、セット30分。但し、25分以内にセットに入ってはならない。
- (3) 用具 自由。
- (4) 整髪料 自由（但し、カラースプレー、カラーパウダー及びそれに類似するものは除く）
- (5) 禁止事項
  - ① 25分以内に整髪料を使用すること。

### 【第5部門】 フリースタイル・チャレンジヘア(出場資格40歳以上)

- (1) 競技規定
  - ① カットは総体的に2cm以上行うものとする。
  - ② 自由奔放でチャレンジに富んだスタイルであること。
- (2) 競技時間 カット、セット通して30分。
- (3) 用具 自由。
- (4) 整髪料 自由。

### 【第6部門】 プロース・カット

- (1) 競技規定
  - ① カットは総体的に2cm以上行うものとする。
  - ② メンズマネキンによるプロースヘア。
  - ③ スクエアアウンドのシルエットをもち、襟元にボカシがあり、スタンダードなプロース。
  - ④ 刈毛を掃う時は、クランプからマネキンを外してもよい。
- (2) 競技時間 カット、セット30分。
- (3) 用具 自由。
- (4) 整髪料 自由。

# 競技事項

## 〔第7部門〕 フォーマルアイニング（セットのみ）

- (1) 競技規定 パートの有無は問わない。  
仕上りがウェーブ、カール及びメッシュ表現でないこと。  
(但し、ウェーブの高低差の無いものは可)
- (2) 競技時間 25分。
- (3) 用具 自由。
- (4) 整髪料 自由（但し、カラスプレー、カラーパウダー及びそれに類似するものは除く）
- (5) 禁止事項 ① ドライヤーの使用は禁止。

## 〔第8部門〕 クラシカルバックスタイル・ボンバージュセット（セットのみ）

- (1) 競技規定 伝統的な男性らしさを表現したスタイルであること。
- (2) 競技時間 セット25分。
- (3) 用具 セット器具は、コーム、ブラシ、ドライヤーのみとする。
- (4) 整髪料 自由。

## 【学生競技】…埼玉県理容美容専門学校昼間生出場競技

## 〔第9部門〕 クラシカルバックスタイル・ボンバージュセット（セットのみ）

第8部門に準ずる

## 〔第10部門〕 ミディアムカット（国家試験新課題）

- (1) 競技規定
  - ① 頭部は、国家試験実技試験用標準仕様適合のマネキンであり、ひげなし仕様のものを使用する。
  - ② 髪型は、左7：3分髪によるミディアムカット。
  - ③ 後頭部に必ずクリッパー（2mm）を使用すること。  
(クリッパーラインは、中央部の最も低い部分で1cm以上刈り、左右に上がった曲線になるようにする。)
  - ④ 総体的に2cm以上カットすること。
  - ⑤ カット・セニングカット・整髪を競技時間内にすべて行うこと。
  - ⑥ マネキンの毛髪は、ぬれていてもよい。
- (2) 用具 頭部は実技試験標準仕様適合であり、ひげなし仕様のマネキン、クランプ、国家試験に必要なカット（梳き鋏みを含む）用具・整髪用具のうち、選手本人が使用する用具を持参する。
- (3) 整髪料 ワックスのみ。
- (4) 競技時間 30分（カット20分、セニングカット・整髪10分）
- (5) 禁止事項
  - ① 規定以外の用具・整髪料の使用は禁止する。
  - ② 競技前のマネキンの毛髪に、水以外のものを塗布してはならない。
  - ③ 薬液処理（パーマ・ヘアカラー・アイロン）の使用は禁止する。
  - ④ 準備時間および競技中のドライヤーは禁止する。
  - ⑤ セニングカット・整髪時間内においてのカット鋏の使用を禁止する。

# 競技事項

- ⑥ 競技終了後、マネキンは指定された方向に向け、審査を受けなければならない。
  - ⑦ 競技終了後、選手は係員の指示に従い速やかに退場する。その場合、作品に手を触れてはならない。
  - ⑧ マネキンの傾け角度は前後左右おおむね30度  
回転角度は左右おおむね90度までとし、それ以上は禁止する。
- (6) 競技開始の状態  
準備時間中に水ぬらしを行い、スタートコールでカットを開始する。

## 2. 刈布・タオルの取り扱い

1部～3部は刈布・タオルは競技開始の合図後につけること。

(但し、タオルについてはモデル審査時に着用した状態のまま競技場内に入場しても可とする)

## 3. 競技完了の表示

- (1) 1部～3部は、モデルから刈布・タオルを完全に取り外し、一步後方に退いた後、手を挙げて行うこと。
- (2) 4部～10部は、一步後方に退いた後、手を挙げて行うこと。

## 4. 失格事項

- (1) 所定の技術及び髪型に適合しない場合。
- (2) 受付時間に遅刻した。
- (3) 競技時間を超過した。
- (4) 所定の用具、整髪料以外のものを使った。
- (5) 競技終了後、修正を行った。
- (6) モデル審査を受けてないモデルを使った。
- (7) モデルに傷を与えた。(刈布・タオルに血が落ちた)
- (8) 各部門競技の禁止事項を守らなかった(但し、適正な処置を施した場合は除く)。
- (9) 刈布・タオルをつけていない。
- (10) 競技完了の表示を行わなかった。
- (11) 監視委員の指示に従わなかった。

## 5. 減点事項

- (1) モデルに傷を与えた。(少々、血がにじむ程度)
- (2) 器具を落とし、《消毒済み》の意思表示をせずに使った。
- (3) 自己損傷で、刈布・タオルが汚れた。
- (4) 床上に直に器具類を置いた。
- (5) モデルの肩や、胸に器具類を置いた。
- (6) 櫛・クリップ等を技術者の頭部・袖に刺した。
- (7) カット不足(モデル審査委員からの、アテンションカード参考)
- (8) 明らかにカット不足が見られた。(複数監視委員が協議)

## 競技事項

- (9) 開始前、終了後の刈布・タオル等の取り扱いに反した。
- (10) ハチマキ・サポーターを使った。
- (11) モデルが、タイムコールを行った。
- (12) モデルが、補助行為を行った。（但し、器具をひざの上に置くことは可）

### 6. 禁止事項

- (1) 競技準備時間中及び競技終了後にモデルに触れること。
- (2) ヘアアクセサリ、つけ毛等をモデルに装着すること。
- (3) カラースプレー、カラーパウダー及びそれに類似するものを使用すること。
- (4) 電気器具を複数台コンセントにつなぐこと。